

の同期会

我が同期会

第26期(新8期) 畠山 信孝



26期(新8期)第18回同期会 於：プラザ都にて

去る8月3日(火)午後6時より能代市柳町のプラザ都に於いて恒例の第18回同期会が開催されました。参加者は33名程でしたが、関東同期会からは北村祐三、佐々木章、松橋重美、佐々木高博、神山正子と、私、畠山と6名の参加でした。地元能代での同期会には初めての参加にて、能代市山本郡内に在住する同期生とは、正に卒業以来49年ぶりの再開でありました。加齢によりお互いに自己紹介で名のりを上げるまで誰が誰だか解らない状態でしたが、思い出話に花を咲かせている内に、49年の時空を越えて17~18才の自分達がそこにいました。かつての紅顔の悪童達も今は、よわい67才となり白髪あり、髪の毛のうすくなった者ありで外見は老人になっても、一瞬の内に49年の時間と空間を飛び越えて、少年時代に意識が戻って行くと云う事は、何と人間とは不思議な存在なんだろうと思いました。思い出は尽きず、夜ふけまで、親交を深めて参りました。毎年一人欠け、二人欠けして行く年令での同期会でしたが、お互いに長生きする事を誓い合い、そしてはげまし合いながら、又の再開を約束し、さりがたき旧友達との別れを、惜しみながらの散会でありました。

尚、翌日は同期で秋田市在住の鎌田弘の車で豊澤能代市長、母校能代高校の菊谷校長、松谷先生等表敬訪問し又途中、神田政直の定年後の経営するダン

スホール教室を見学したりして、秋田市に移動し、小野寺県教育長を表敬訪問した後、同期の秋田市在住の武田忠雄を見舞い訪問、元気な様子に安心したりして、今回の同期会の思い出を、胸にいだきつつ稲穂の出始めた、秋田を後にした次第です。

元気・同期・邁進

第29期(新11期) 宮腰 瑞夫

最近、日本人の平均寿命が男性78歳、女性85歳と報道された。同期の仲間は男性が14~15年(女性21~22年)の残存年数であるが、同期会に参加する面々は健康そのもので、それをはるかに越える勢いで活躍中である。

昭和34年、能代高校を卒業して国内外に散らばった仲間も既に定年を通過したが、今年も2月7日に第23回1・2・3同期会を新宿「北野水産」に18名参集し旧交を暖めた。

定年後、①継続組(石川・佐藤(晃)・佐藤(重)・清水・下間) ②再就職組(加賀・笹木) ③自営組(赤塚・大越・太田・大高・関根・宮腰(興)④模索・自適組(大塚・嶋田・長谷川・宮腰(瑞)・熊谷) 以上敬称略一と大別されるが、中でも勇往邁進する自営組の太田、関根は元気百倍、明朗闊達で、海外出張が多い宮腰(興)は話題豊富で、それぞれが同期会を盛り上げてくれる。

能代は市町村合併問題による市名改称で揺れており、少子高齢化による一部廃校が噂されているが、ふるさとの奮起を祈念します。



第30期(新12期)
能代高校東京同窓会

幹事 熊谷 幸夫
(能代市出身)

〒263-0051
千葉市稲毛区園生町158-1
TEL 043-287-6887

有限会社 オカベアート

フォトグラファー 岡部 忠

〒135-0044
江東区越中島1-3-1705
TEL 03-3641-0439
FAX 03-3641-0421

第28期(新10期)
能代高校東京同窓会

監事 大久保 征輝
(能代市富町出身)

〒330-0037
さいたま市東大成町2-191-507

『特集：これからの東京同窓会』アンケート結果

会報担当では、会報第14号の特集として「これからの東京同窓会」と題するアンケートを行いました(アンケートの内容は12頁に別掲)。

この種のアンケートは、大量の対象者に対し同時に行うのが普通ですが、東京同窓会の運営の現状をみたとき、運営の中心は役員と幹事の一部であることから、これらの中から12名の方を抽出して回答をお願いしました。貴重なご意見など極めて示唆に富む回答を寄せられました。もっと多数の者を対象とするアンケートとすべきであるのご意見もありました。そのとおりですが、この点は今後の東京同窓会の運営の中でより多くの会員の意見を吸収して実現していただくことをお願いしたいと考えます。以下にアンケート結果の略全文を設問ごとに紹介します。会員各位がこれからの東京同窓会を考える参考としていただくことができれば幸いです。

今回のアンケートに回答いただいたのは、次の皆さんです。

- 16期・熊谷洋三、24期・山縣輝輔、26期・畠山信孝、27期・石嶋喜直、
- 29期・太田勝治、32期・高田政勝、37期・若狭秀己、39期・菅原 涉、
- 45期・三浦 洋、45期・袴田邦夫、49期・田村盛仁、62期・大高忠勉

最初に、一般的な高校の同窓会と、「東京同窓会」という特定の団体についての理解・認識を尋ねてみました(以下、複数選択あり)。

これについては、二つの質問についてほぼ同じような回答が得られました。

(注)アンケート項目の正確な表現は別稿をご覧ください。

問1 一般的に「高校の同窓会」とはどんな団体？

- a 同じ高校で学んだ者同志の先輩後輩を通じた親睦会 ----- 8人
- b 同じ高校で学んだことを機縁としたネットワーク ----- 5人

c 同じ高校での先輩後輩の重層的な団体 - 1人

問2 「能代高校東京同窓会」はどんな団体？

- a 首都圏在住者の先輩後輩の親睦会 ----- 9人
- b 首都圏在住者のネットワーク ----- 4人
- c 首都圏在住者先輩後輩の重層的な団体 - 1人

次に能代高校東京同窓会は能代高校同窓会の支部ではなく、独立した団体であることについては、一人を除き全員が以前から知っているとのことでした。しかし、そのことがどういう意義を有するかということについては、多少考えが分かれる結果となっています。

第24期(新6期)

弁護士 豊田 誠
(琴丘町鹿渡出身)

豊田誠法律事務所

東京都渋谷区恵比寿4-4-2
クレスト恵比寿705
TEL 03-3443-3731
FAX 03-3443-3797

家庭用品の総合商社



株式会社 友和

おかげさまで
創業40周年



代表取締役会長

小林 肇 第19期(旧19期)

本社 〒164-8610 東京都中野区中央 5-7-1
TEL 03-3383-2111(大代表)
FAX 03-3380-1181